

ダークツーリズムと アーカイブ

井出明

1. 2015に起きたこと①

- 左派中心の文化人の活動

← 反原発と結合

現地のアイデンティティへの無配慮

具体的要求との乖離

→ 開沼博の離反

(入場に際しての注意事項)

- *一般
- ・当日の会場内での動画での撮影や録音は禁止とさせていただきます。
- ・当事業の趣旨・目的から外れる内容をSNS等の媒体を通じ発信することを禁じます。
- *報道（マスコミ）の皆さまへ
- ・当日は必ず報道（マスコミ）の受付にて登録をお願いします。
- ・当日の会場内での動画での撮影や録音は許可を得た方のみとさせていただきます。
- ・当事業の趣旨・目的から外れる発信をされると思われる方は入場をお断りする場合がございます。（こちらで判断させていただきます）
- ・明らかに事実と異なる内容や、偏った論点での報道や発信をされた方及び団体・報道機関等につきましては、法的手段を行使する場合があります。（当日、同意書にサインを頂く場合があります）

1. 2015に起きたこと②

- 除染を含めた復興事業の利権化
 - ← 現政権との結合と右派の台頭
 - エスタブリッシュメントに物が言えない
- 差別構造の複雑化
 - 西成から労働者が消えた
 - 除染の人は怖い人
- モデルケースは水俣
 - ※福島では、コミュニティの内部崩壊の懸念

1. 2015年に起きたこと③

- コミュニティの崩壊
モデルケースは水俣

- 科学の暴力化

- (1) 福島を危険だと言うやつはリテラシーがない
- (2) 核廃棄物は10万年貯蔵すれば大丈夫

科学では救えない福島 ←科学者をいかに説得するか

微積分

割り算

足し算

科学は公理系で記述される。
下が正しいから、上が正しいことが保障され、更に上が正しくなる。
 $1 + 2 = 3$ であり、それにもとづいて
 $2 / 3 \quad \boxtimes \quad 5 / 6 = 6 / 5$ になり、
またそれにもとづいて、 $X^3 + 2X^2 - 1$ の微分が、 $3x^2 + 4x$ になる。
つまり、体系の途中だけを都合よくぬきだせない。

- 科学的に安全であったものが崩壊したため、その事後の状況を科学で担保するのは論理的にトートロジーになる
- 体系を部分的に使うことは出来ない
- c f. 全袋検査 & BSE騒動の時の全頭検査、水素水、血液型占い、プラズマクラスターの日本では無理



非常に矛盾した新聞記事 (yomi.Dr)

坪倉正治さん（2）放射線の情報どう伝えるか 正しただけで人は動かない



ほぼ検出ゼロの内部被曝検査、必要か

- > 「僕は放射線については『お父さん役』と『お母さん役』が必要だと思っています。お父さんのように『数字的なものはこうだ』と事実から方針を示す役割と、『それでもやっぱり不安だ。他にもいろんな問題がある』とケアができるお母さんの的な

1. 2015年に起きたこと⑤

- 災害系研究者は手を引いた
←論文が出ない／院生に学位を出せない
- 福島学のために
「勉強してから来てください」になってしまった
←無関心層の増大

1. 2015年に起きたこと⑥ (東日本大震災一般)

- 復興のファシズム化と反発

福島だけでなく復興が土木工事にすり替え

復興のファシズム化は70年前から同じ

「平和記念公園の史的研究——. 岸 佑」

語り部と被害者絶対主義の歪みもここから

→アーカイブへの批判

- 神戸型のまちづくりがないことが鮮明化

- フクシマは被災地の分断を象徴しているが、

石巻等でも同種の構造を持つことが顕在化

→ダークツーリズムが被災地で支持を集める

- 補遺 若干の考察①

- 左派と結合すると記憶が承継されない
←大川小学校はなぜ承継できたか



補遺 若干の考察②

- 住民ベースだと都合の良い記憶しか承継されない

c f. 奥尻の町長の汚職

石巻のNPO（一社）の横領

長崎の中国人被爆

← 教訓が承継されない愛国博物館

被災者ベースではない記憶の承継の必要性

2. 今後の課題

2. 1. 観光対応

2. 2. 観光資源

2. 3. 農業問題

2. 4. 外部連携

4. 1. 観光対応

- 長期

ダークツーリズムの視点が必要

“復興過程”そのものが観光資源になる

水俣の「もやいなおし」が参考になる

水俣は世界的な観光都市になっている

←別種のエコツーリズム化

2. 観光資源①

- 食材そのものでの集客は困難

←元々、高付加価値農業

※科学としての安全ではなく、

ブランドとしての安全

2. 観光資源②

- ブランドを地産地消農産物と切り離す

※水俣（＝水質汚濁）ですら玉ねぎが売れない

地産地消は、**産業政策としては合理性を欠く**

←方法の特許

松阪牛の意味

※福島の人が長野で育てた野菜
さぬきうどんも信州そばも外国製
(浪江焼きそば、大堀相馬焼の経験)

酒は可能性あり（三宅島の例）

2. 観光資源③

- 安全とは無関係な食の開発
- 安全は前提なので訴求しない



2. 3. 農業問題①

完全に利権化した

- ウクライナ & ベラルーシとの差

ソ連崩壊後、**経済が崩壊し自給自足**になった

= 内部被曝を抑えられない

少なくともこの問題は、日本にはない

- 農業をやってきたのか、
家業として守ってきたのか？
- 除染して意味があるのか？ 富山
- 風評被害という概念は認めるべきなのか？

富山のお話

- ウィキペディアの写真



https://upload.wikimedia.org/wikipedia/ja/8/89/%E3%82%A4%E3%82%BF%E3%82%A4%E3%82%A4%E3%82%BF%E3%82%A4%E7%97%85_%E9%B5%9C%E5%9D%82%E5%9C%B0%E5%8C%BA%E3%82%AB%E3%83%89%E3%83%9F%E3%82%A6%E3%83%A0%E6%B1%9A%E6%9F%93%E7%94%B0%E5%BE%A9%E5%85%83%E8%A8%98%E5%BF%B5%E7%A2%911.jpg

2. 3. 農業問題②

パラレルで鉄道も同じ

- 鉄道を復活させても客が見込めない

c f. 鉄道の豆知識

観光需要では養えない

←ぬれ煎餅では無理

ドル箱は通勤定期

→東北新幹線は、観光史の例外

- 東北の農業は工場が守ってきた

→旧第2種兼業農家／準主業農家・副業的農家

工場がないところで農業は出来ない



BRT



2. 4. 外部連携（prezi）

- チェルノブイリとの連携 非常に消極的
- 広島との連携 現在消極的

東さんは差異を強調

→井出：第五福竜丸でつなぐ

被爆者のイジメや差別でつなぐ
良心的左派との連携の可能性

3. アーカイブと福島①

- 渡邊型アーカイバの問題点
- そこにいた人がエラくなってしまふ

(デジタル版のここに住んでから言え)

①そこにいない被災者・被害者の声を拾いにくい

←ヒロシマ型記憶の承継が構造的に持つ課題

→ハンセン病の記憶の承継の鋭さ



3. アーカイブと福島②

②被災社会を多面的に捉えにくくなる

10時間 → 100時間 → 1000時間

医師 & 看護師、小学校の先生、公務員など

被災社会のステークホルダーは多岐にわたる

③歴史家が検証しにくくなる

3. アーカイブとフクシマ③

- 6年を経て、自主避難者は追い詰められつつある。
- 大阪、石垣、沖縄、仙台、二本松などいろいろなところにいる。
- この方達に、一年ごとにどこに住んで何を考えていたのかを聞き取り、これをデジタルマップの中に落とし込んでいくと、原発被害の経年変化が見える化される。

